

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人兵庫医科大学(仮称)新病	階数	地上15F
建設地	兵庫県西宮市	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	2,500人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2023年2月28日
敷地面積	8,879㎡	作成者	加藤岡
建築面積	6,703㎡	確認日	2023年3月3日
延床面積	73,416㎡	確認者	親川

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

音環境	2.9
温熱環境	3.9
光・視環境	3.6
空気質環境	4.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

機能性	3.7
耐用性	4.3
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.8

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	1.9
効率的	4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化	3.0
地域環境	2.6
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 大学病院の老朽化による建替え計画であり、求められる医療機能の維持と継続を考慮し計画した。各棟との連携を高める上空通路による患者、事業者双方の利便性を高めると共に、免震構造を採用し地震災害に備える計画とした。		仮想敷地外ではあるが、病院敷地北側建物を解体し広い緑地広場を計画している。
Q1 室内環境 南側高速道路の騒音に配慮したサッシの使用や、JIS規格☆☆☆の内装材使用、敷地内喫煙等で快適な室内環境を目指した。	Q2 サービス性能 医療継続性と機能性を配慮し、免震構造の採用や、病室の最適な広さ確保、メンテナンスしやすい内装材の採用しました。	Q3 室外環境(敷地内) 隣接する既存建物と調和するデザインとした。
LR1 エネルギー 病棟階はバルコニーを設置し熱負荷低減する計画とした。また、効率的運用を図るモニタリングシステムを導入	LR2 資源・マテリアル 節水型の機器を採用	LR3 敷地外環境 高効率熱源機器の採用及び高断熱化による省エネルギー建築

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される